



いの町長 始 塩田

あけましておめでとうございます。皆さまには、お健やかな新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

本町は、合併後4年を経過し、この間、町の将来像である「豊かな自然と心に出会えるまち・いの」を実現するため、皆さまのご理解と協力のもと、新たな施策やさまざまな取組を行ってまいりました。

昨年は、県内で「花・人・土佐であり博」が開催され、本町でも地域イベントの一つとして「仁淀川・神楽と鮎と酒に酔う&キャンドルアート」を実施し、町の魅力をアピールすることができました。

また、町では、「緑のダムと清流を後世の子どもたちに」というキャッチフレーズとして、自然環境の保護に取り組んでいることから、水と山の環境保全に使用するためのふるさと納税をスタートし、県外在住の皆さまからご寄

付をいただき、有効活用に向けて検討を進めていくところであります。

健康づくりにつきましては、むささび温泉で高知大学医学部と連携して温泉を活用した水中歩行運動事業を実施し、膝の痛みや筋力アップに効果があることが検証されました。町内には、高地でのトレーニングの場や温泉といった豊かな自然を数多く有しており、今後も地域資源を活用した健康づくりや健診等を積極的に行い、健康増進に努めてまいります。

仁淀病院の改築につきましては、「町民の皆さまが心身共に健康で安心して暮らせる医療サービスを提供する病院」を目指し、平成23年3月をめどに全面改築に向け取り組んでいるところであります。

このほか、防災面でも拠点となる本庁の改築へ向けた取組や、福祉の充実、教育環境の整備など、今年も町民の皆さまが安全・安心して生活できるまちづくりを目指して努力を重ねてまいりますので、ご理解とご協力をよろしく願います。

最後になりましたが、皆さまのますますのご健康とご多幸をお祈りし、私からの新年のあいさつといたします。



いの町議会議長 豊 土居

新年おめでとうございます。皆さまには清々しい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

米国に端を発した激変する厳しい経済情勢と不安定な社会生活のなかで平成21年がスタートいたしました。わが国では企業の弱体化や地域間格差の増大により、地方の経済力はさらに低下して、個人生活も苦しさが増え、国民生活を守るために政府の諸経済施策の実行を期待するところであります。

私たち国民は、自己責任で家族の生活を守り、協同社会であるいの町を明るく向上させる責務があると考えます。思い起こせば戦時中は、火鉢や蚊帳の金具を供出し、国のために尽くすだけでなく、飢えをしのいだ食事で耐乏の生活を体験しました。

戦後、焼け野原となり草木一本ない荒野化した高知市街路は区画整理され、いまは広い道路に車両が行き交

い、高層ビルの連立する近代都市に力強く再建しております。それを成し遂げたのは地元で生活する私たち高知県人です。

また、高知県は過去毎年のように収穫を目前にした秋、台風の影響に見舞われました。先人たちはそれを克服し立派な郷土を築いてこられたのです。土佐には質実剛健の気風が培われてい

ると思います。 昨年は日本人が三人もノーベル賞に輝き、少年期からの努力が偉業として世界に認められた素晴らしい年でありました。

霊峰石鎚山に連なる高い山々と吉野川・仁淀川の源流の森林等、広大な自然に抱かれた「いの町民」が本年も自然の恵みと教えを受け、純朴で誠実な人間性を向上させてお互いの信頼を高め、困難を克服し、豊かな社会生活を送ることのできる一年でありますように心から願うものです。

議会としましては町民の皆さまとともに輝く「いの町」建設のために邁進してまいります。

己丑の本年が堅実な一年であることを願うとともに皆さま方ますますのご健康とご多幸を祈念いたします。